

私たちの一票がつくばを動かした日

～2015年8月2日～

この日、つくば市で初の住民投票が行われました。
『総合運動公園の基本計画の賛否を問う住民投票』です。

あの時、
市議会は、用地取得を1票差で決めた
真つ二つの状況。しかも、計画は市民への
説明や意向調査もなくつづられ
フタを開けてみれば、なんと総工費305億円の巨大大業。



このままではいけない！まずは計画を止めよう！
と、同じ考えの市民とともに“つくば・市民ネットワーク”は住民投票
の成功に向けて署名活動や集会の実施に力を注ぎました。

そして、住民投票の結果は… **8割の反対票！**
基本計画は**白紙撤回**されたのです。

「投票に行っても意味がない」？
「決まったことはしかたない」？
いいえ！
私たちの一票ってすごい力を
持っています！



つくば・市民ネットワーク運営委員
こもりや

小森谷さやかの活動レポート 〈討議資料〉

ただ「コストを造ればいい」といふ問題ではないですね。
限られた財源の中、どう優先順位をつけていくのか。既存のものをどう活用していくのか。
人それぞれ異なる意見をすり合わせていくことはとても難しいです。
でも、大事なことは、「市民の声が届く政治である」ということ。
住民投票以外にも、市民の声がしっかりと反映されるしくみが不可欠だと考えています。

でもちよと隣の地区になると...

新しい学校もいはいけど、
既存の学校の改修も進め
て欲しい。校舎は古く、
とくにトイレの臭いが
ひどく、子どもが勉強に集
中できかないと言っている。

このあたりは
子どもがどんどん
増えている。
早く新しい学校を
つこうしてほしい。

地域交流
センターが
足りないよ。

子どもを
学校の児童クラブに入れたけれど
なかなか入れない。
民間の児童クラブもいっぱいだし
何よりお金がかかる。
せめて児童館があったらなあ！

通学路の歩道が狭く危険な
場所があるのに、なかなか
補修工事をしてくれない。
開発地域ばかりにお金が
まわっている。

街灯が少なく、
夜道が怖い。

わたしたち「つくば・市民ネットワーク」は、地域の皆さんと一緒にまちづくりをしたいと考えています。
わたしの小森谷さやかの住んでいる地域（研究学園）からはこんな声の間を返してきます。

～ はじめまして！小森谷さやかです ～

1974年5月7日「かかあ天下と空っ風」の群馬県前橋市に生まれる。

上州名物「焼きまんじゅう」が好物。

1993年 大学は富山へ。薬剤師を目指す、その実態はバンドに
明け暮れる日々→見事、国家試験に落ちる。（その後3回目でようやく合格）

1997年 製薬メーカーにMR(営業)として就職、仙台へ。

2004年 MRを退職。薬剤師としてのスキルを磨こうと薬局で働き始める。

2005年 子どもが生まれ、子育てにオロオロする日々。薬剤師も細々と続ける。

2007年 つくばへ。

2008年 子どもが2人に。子育てとパート薬剤師に追われる日々。



「政治」は遠い世界の話でした。

政治は政治家におまかせするもの、と思っていました。私には関係ないし、
どうしようもできないし。投票に行ったら何も変わらない。

何も感じてないわけじゃないんだけど、
小さな「どーして？」を抱えながら、毎日に押し流されていました。

3.11 後。

いろいろな心配事があって、ジタバタ走り回りました。
ホント、手探りでした。
勉強会に行ったり、国会前のデモに行ったり、署名を集めたり・・・

みんな、選挙に行こう！
と訴えました。
2016.05.29 選挙フェスにて

「おまかせ」してたら変わらないんだ。

同じ思いを持つ仲間と出会い、
今度は自分たちで勉強会、イベントを企画していくうちに、
やりたいこと・やれること、そして仲間も増えていきました。
総合運動公園の住民投票では、「え！なんとかなるんだ！」
と、うれしい手ごたえ！
この経験をきっかけに「市民の声が政治に届く仕組みが必要。」
そう思うようになりました。



3.11 のすぐ後

声を聞かせてください。

どんなまちで暮らしたい？
このまちをつくるのは私たち。
一緒に話し合いませんか？

*つくば・市民ネットワークでは、議員のことを「代理人」と呼びます。
議員は皆さんの「代理をつとめる者」。
皆さんと一緒に市政をつくっていきたい、と考えているからです。
また、市民感覚を大事にし特権化しないよう、原則2期8年で交代します。
つくば・市民ネットワークは、あなたの声を市議会へ届けます！

市民の声を届けるために
小森谷さやかが
走り出しました！



小森谷さやかの
facebook はこちら→



小森谷さやかの
ツイッターはこちら→

